

台湾・輔英科技大學との国際交流協定(MOU) 締結式典出席報告

阿部薫¹⁾、山本正治²⁾、柴山純一³⁾、瀧口徹³⁾
林維政⁴⁾

- 1) 新潟医療福祉大学 義肢装具自立支援学科
- 2) 新潟医療福祉大学 名誉教授(前学長)
- 3) 新潟医療福祉大学 医療情報管理学科
- 4) 新潟医療福祉大学大学院 義肢装具自立支援学分野

【背景・目的】2019年8月28日、本学教員3名はMOU締結の打合せのため、輔英科技大學(台湾・高雄市)を訪問した。なお同大學は林維政氏(本学修士1年)の母校であるため、仲介役として同行した。本学の学部学科と同一または共通する分野も多いため、全学事業として協定の締結を行い、教員/学生の交流を促進することで合意した。締結式典は同年12月20日に輔英科技大學で行うこととなった。

輔英科技大學は1958年に創立された私立大学で、前身は看護学校として出発し、その後大学へ移行して、2002年に「輔英科技大學」と改称して現在に至る。4学部16学科を擁し、在籍学生は約9500名、学部学科構成は次の通りである。

- ・看護学部(看護学科、助産学科、健康事業管理学科、老年介護事業学科)
- ・医療健康科学部(医科学学科、理学療法学科、健康栄養学科、健康美容学科)
- ・環境生命科学部(環境工学科、応用化学材料学科、職業安全衛生学科、バイオテクノロジー学科)
- ・人文経営学部(情報管理学科、観光産業管理学科、幼児保育産業学科、応用外国語学科)

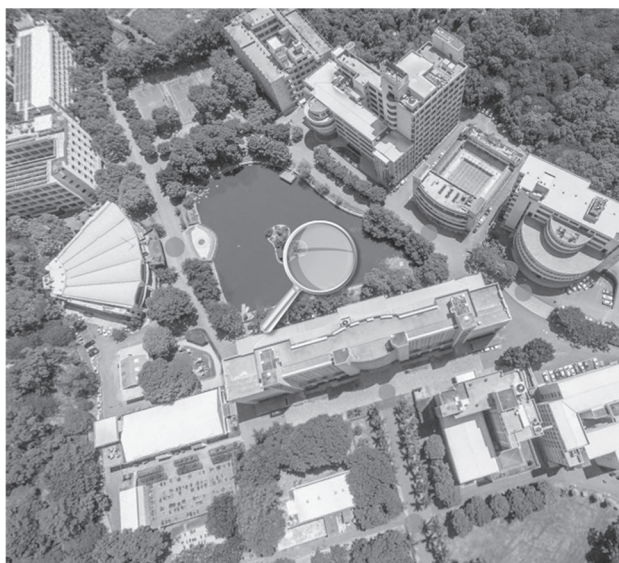


図1 輔英科技大學の航空写真¹⁾

【方法】MOU締結に向けた本学教員による訪問を実施するため、国際交流事業計画書を国際交流センター運営委員会提出し承認が得られたため、輔英科技大學を訪問することとした。

訪問したのは山本正治学長(当時)、柴山純一教授(医療情報管理学科長)、瀧口徹教授(医療情報管理学科)、阿部薫教授(国際交流センター運営委員)の教員4名と、林維政氏(本学修士1年)であった。輔英科技大學は台湾第二の都市である高雄市(人口227万人)にあり、新潟からは新幹線→成田空港→高雄空港の経路を使用した。

なお、本報告に関連する利益相反はない。

【結果】2019年12月20日、本学教員4名は林氏と共に輔英科技大學を訪問した。締結式典では本学の山本正治学長と輔英科技大學の顧志遠校長が交流協定書にサインし、今後の両校の交流促進を確認した。



図2 締結式典での両学長(校長)



図3 両大学関係者による記念撮影

【結論】今後は全学事業として教員や学生の交流を促進していくため、まずは本学の医療情報管理学科との交流からスタートし、順次、複数学科の交流へと拡大していく予定である。

謝辞

今回の事業は本学の2019年度国際交流事業費の交付を得て行われた。ここに深甚なる謝意を表します。

【文献】

<http://english.fy.edu.tw/living.html> (輔英科技大學 HP, 2020.8.26 アクセス)